

農産物検査における産地品種銘柄証明について

1 現行の産地品種銘柄の設定と問題点

- (1) 農産物検査の米の産地品種銘柄については、JAS法に基づく精米表示の根拠となっているが、これまでは、産地としてまとまった取組みが行われている品種であって、流通上区分けが必要なものを都道府県ごとに生産者団体、実需者団体、都道府県及び農政事務所等が協議し、合意が得られたものを基本に決定してきた。
- (2) しかし、新品種や小ロットの米については、関係者間の協議が整わなかったり、申請手続きが不明確であったりしたケースがある等、産地品種銘柄の設定が必ずしも容易ではなかった。
- (3) また、産地品種銘柄に設定されなければJAS法に基づく精米表示ができないので、このような状況は多様なニーズに応えた「売れる米作り」を目指す産地の取組みを推進する観点からも改善が求められていた。

2 16年産以降の産地品種銘柄の設定手続きの改善

- (1) このため、16年産米の銘柄設定に関する各都道府県における協議の進め方について、次のように改善した。
 - 新規銘柄設定要望の聴取の仕組みの明確化
 - 実際に新規の銘柄設定を要望する者の会議への出席
 - 会議の透明性の確保（会議の開催の公表、議事の公開）
 この結果、春陽、LGCソフトなどの新形質米の品種が本年度から新たに銘柄として設定される予定である。
- (2) さらに、17年産から直接農政事務所が新規設定の申請を受付けた上、有識者の意見を聴いて銘柄設定をする仕組みを導入することにより、一層の手続きの改善を図ることとしている。

16年産の産地品種銘柄の設定状況（予定）

	16年産	15年産	新規	廃止	増減	名称変更
水稻うるちもみ及び玄米	512	510	21	19	2	4
水稻もちもみ及び玄米	72	63	10	1	9	-
醸造用玄米	176	178	4	6	2	1

16年産の新形質米の新規設定状況（予定）

- (1) 春陽・・・5県（宮城県、秋田県、新潟県、石川県、宮崎県）
- (2) LGCソフト・・・3県（島根県、広島県、宮崎県）
- (3) 夢ごこち・・・1県（茨城県）

春陽、LGCソフト
易消化性タンパク質のグルテリン含有量が通常の品種と比べて低いという特徴を有する品種
夢ごこちの特徴
アミロース含有量が5～15%で、飯米の粘りが強く、冷めても硬くなりにくいという特徴を有する品種

産地品種銘柄設定の流れ図

